

Weekly Report

テーマ／メンバー卓話：石原彰久君

■日 時／2011年8月25日(木)7:30～ ■場 所／カトリック布池教会内聖ヨゼフ館



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011-12年度国際ロータリーテーマ

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011-12年度クラブ運営方針

「ロータリーの力で、伝えよう私たちの心」

会 長：田中 利幸
副会長：石原 彰久
幹 事：前崎 正太郎
例 会：毎週木曜日
会 場：カトリック布池教会内聖ヨゼフ館
住 所：名古屋市東区葵1-12-23
電 話：052-935-7790

第288回例会(第7回)

例会出席率

今 回 (8/25)		前 回 (8/18)		前々回 (8/4)	
会員数	25名	会員数	25名	会員数	25名
出席数	15名	出席数	16名	出席数	18名
欠席数	10名	補填数	2名	補填数	3名
出席率	60.0%	出席率	72.0%	出席率	84.0%

今月のお誕生日

14日 谷口 善彦 君

ビジター紹介

本日はいらっしゃいませんでした。

次回例会案内(第8回)

- 開催日時／2011年9月1日
- 開催場所／カトリック布池教会内 聖ヨゼフ館
- テ ー マ／ガバナー補佐訪問

会長挨拶

田中利幸



昨日の朝、尖閣諸島付近の日本の領海内に2隻の中国政府の船が入ってきた問題で、日本政府が中国に抗議したところ、中国の領海なので何の問題もないと答えたニュースを聞かれたと思います。皆さんはどのように感じられましたか。少し古い話ですが、胡錦濤主席の訪米がありました、あれは、世界No.1の覇権国ア

メリカが中国をNo.2だと認め、世界中がそれを認識した瞬間で、また、中国国民は、必ずNo.1になると強く思ったと、元中国大使から聞いたことがあります。田中角栄が訪中した時、周恩来との乾杯で二人の杯の高さを同じにすることに全神経を使ったそうです。両国は対等だとゆう事です。オバマと胡錦濤の乾杯は、オバマが完全に上で胡錦濤が下でした。驚いたのは、オバマ婦人も同様だったことです。誇り高き中国国民は、必ず、アメリカを抜いてNo.1になってやると思ったに違いないと思います。今、アメリカは経済的にガタガタになっています。もしも、隣国、中国が世界No.1の覇権国になったとき、日本は、どうなるのでしょうか。日本を愛する皆さんと、真剣に考えなければいけないと思わせる事件でした。

幹事報告

前崎正太郎

- ・来週9/1の例会は、ガバナー補佐訪問です。例会前に会長幹事懇談会、例会後にクラブ協議会を開催致します。クラブ協議会につきましては、各委員長より活動報告をしていただきますので、必ずご出席ください。
- ・下記の通りに各会合があります。再度日程等の確認をお願い致します。また、クラブ内の委員会もございますので、メーキャップにご活用下さい。

- 8/25(木)13:00～ 地区職業奉仕委員長会議(小玉委員長)
- 8/26(金)11:30～ 8月度職業奉仕委員会 丸の内小
- 8/26(金)17:00～ 第1回合同ローターアクト委員会 東急ホテル
- 9/1(木)19:00～ ガバナー補佐訪問
- 9/3(土)16:00～ 新世代サミット(会長、会長エレクトロ、漢字、新世代奉仕委員長)
- 9/6(火)18:45～ 9月度クラブ奉仕委員会 大場鈴木堀口合同法律事務所
- 9/15(木)16:00～ 地区米山委員長会議(阿部副委員長)
- 9/22(木)12:30～ ガバナー公式訪問 ホテルルブラ王山
- 9/26(月)19:30～ 9月度理事会



会員増強について

今年度の会員増強について、当2760地区に於いて女性会員入会を勧めて欲しいと云う意向が有ります。我が国の経済面の動向を見ても女性の進出は目覚ましいものが有りますし、職種の多様化の面からも望ましいと云う事です。つきましては葵の入会基準に達する資格をお持ちの女性とお知り合いの会員の皆さんは、是非、

例会見学や推薦等、本日より具体的行動に入って頂きたい。先月の地区会員増強セミナーにて、名古屋名東RCさんが前年に大量入会を実現され、その方策を教えてくださいました。とにかく例会毎に会長さんの叱咤激励も有って、毎回の見学の行列を作って達成されたそうです。各界の多くの方に見学して頂き、会の存在をアピールし会員増強を達成する、例会の活性化が図られ充実した一年で有ったそうです。念のために、女性会員候補者に限らず、まず皆さんのお知り合いに声をかけて例会見学にお誘い下さい。宜しくお願い致します。



3.11の影響は未だ残っているようです。通常、12月に大綱が発表され翌4月から施行される税制改革ですが、今年は未だ施行されていません。これには民主党政権が不安定であることも関係していますので、来年以降も自民政権時代のよ

うな流れに戻ることは難しそうです。これは私たちの経済にも影響を与えています。企業は、その年に施行される優遇税制などを見て設備投資を実施しますが、今は計画もできない状況です。必要に迫られた企業では見切り発進のような形で設備投資をこなすだけではなりませんし、設備投資による新たなビジネスチャンスの芽も生まれ難く、明らかに経済活動に悪影響を及ぼしています。